

高等学校 令和8年度（1年次用）

教科 国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1年次 E組～ F組

教科担当者：(E組：) (F組：)

使用教科書：(第一学習社 言語文化)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えと広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、言語文化の担い手として自覚を持つようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元名：古文入門 【知識及び技能】 時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする意識を持たせる。(以下、同)	・指導事項 古典の文章に慣れさせる。説話という文章の種類を理解する。歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。古語辞典の引き方を理解する。 ・使用教材 「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』) ・一人1台端末の活用について 課題の作成、リフレクションシートの作成等		○	【古典】	【知識・技能】 古文を読むための文語の決まりや古典特有の表現について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に説話を読み味わい、話の面白さを伝え合おうとしている。	○	○	○	7
1 学期 B 単元名：古文に親しむ 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり(活用や活用形、係り結び、仮定条件、確定条件など)について指導をする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	・指導事項 古典を読むために必要な文語のきまり(活用や活用形、係り結び、仮定条件、確定条件など)について指導をする。 ・使用教材 「絵仏師良秀」(『宇治拾遺物語』) ・一人1台端末の活用について 課題の作成、リフレクションシートの作成等		○	【古典】	【知識・技能】 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	7

	<p>D 単元名：近現代の詩歌</p> <p>【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】(同上)</p>	<p>・指導事項 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにする。</p> <p>・使用教材 「贅のうへ」「一つのメルヘン」</p> <p>・一人1台端末の活用について 課題の作成、リフレクションシート</p>			<p>○【近代以降の文章】</p> <p>【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】詩歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見直しをもって詩歌に親しもうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	<p>E 単元名：随筆(一)</p> <p>【知識及び技能】自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】(同上)</p>	<p>・指導事項 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 作品に表れた美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合えるようにする。</p> <p>・使用教材 「芥川」(『伊勢物語』)</p> <p>・一人1台端末の活用について 課題の作成、リフレクションシート</p>			<p>○【古典】</p> <p>【知識・技能】古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習の見直しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査					○	○		1
2 学 期	<p>C 単元名：日記</p> <p>【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】(同上)</p>	<p>・指導事項 日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・学習材 「門出」『土佐日記』</p> <p>・教科書、文法書、便覧、一人1台端末の活用 等</p>			<p>○【古典】</p> <p>【知識・技能】古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方について根拠をもって説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習課題に沿って異なるテキストを読み合わせて、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>G 単元名：古典の和歌</p> <p>【知識及び技能】我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、黎明期・発展期・成熟期の和歌の特色を捉えさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】(同上)</p>	<p>・指導事項 和歌の修辞法などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 和歌の内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・使用教材 『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』</p> <p>・一人1台端末の活用について 課題の作成、リフレクションシート</p>			<p>○【古典】</p> <p>【知識・技能】和歌の修辞法などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1

